

岡崎・六勝寺を歩く

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

洛東岡崎の地は、平安時代後期に白河法皇や鳥羽法皇によって寺院や院御所がつぎつぎに造営されたところ。今日、その場所を訪ねても往事を偲ぶものはほとん

ど残っていませんが、発掘調査が進展するにつれてその様子が明らかになってきました。ここでは、今までの主な調査地点と調査年・出土した遺構の写真(1~8)を

紹介します。また、散策に適するように石碑や説明板の位置も示しました。これを道しるべに岡崎の遺跡を訪ねてみて下さい。思わぬ発見があるでしょう。(丸川 義広)

1 地業跡 尊勝寺跡の北側で地業石を検出。丸太町通の北側にも重要な建物があったようだ。1994年

2 石組の井戸 武道センター建設地で検出した井戸(右)と移築したもの(左)。1982年

3 白河南殿跡 基壇の裾と雨落溝の石列。石の並びがずれているのは階段が存在したためとみられる。1980年

4 尊勝寺阿弥陀堂跡 南北方向の建物礎石の根固め。1977年

得長寿院跡の石碑

京都会館東の尊勝寺跡の石碑

成勝寺跡の石碑

勸業館前の延勝寺跡の石碑

延勝寺跡の説明板と石碑

白河南殿跡の説明板

冷泉通疏水側に白河南殿跡の説明板と石碑



5 尊勝寺五大堂跡 建物南西隅の礎石と基壇の裾を検出した。1986年

尊勝寺跡の説明板



京都市美術館北東の円勝寺跡石碑



6 尊勝寺の建物跡 冷泉通の調査で建物基壇や雨落溝の石組を発見。1996年



京都市動物園内にある法勝寺の説明板と九重塔跡石碑(上) 塔跡から出土した花崗岩(下)



二条大路末の北築地位置に移築した地業石



岡崎駐車場地下通路に展示中の出土遺物



広道橋のたもと石碑



二条通から見える法勝寺金堂基壇の高まり



7 二条大路末の遺構 礎を敷き詰めた道路と築地の地業・側溝は白河条坊の復元に欠かせぬ資料である。1991～92年



8 法勝寺跡 東上空から見た発掘中の東回廊。金堂跡は調査地の西隣に位置する。1986年